



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月30日

上場会社名 株式会社アダストリア 上場取引所 東
 コード番号 2685 URL <https://www.adastria.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 治
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員 管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 岩越 逸郎 (TEL) 03-5466-2060
 四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	68,478	18.1	6,278	37.2	6,349	28.9	4,464	34.7
2023年2月期第1四半期	58,006	25.0	4,574	632.1	4,926	412.5	3,313	—

(注) 包括利益 2024年2月期第1四半期 4,799百万円(20.3%) 2023年2月期第1四半期 3,988百万円(846.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	98.41	—
2023年2月期第1四半期	73.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	119,070	64,213	52.8
2023年2月期	111,392	60,762	53.3

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 62,891百万円 2023年2月期 59,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	30.00	—	35.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	7.2	14,000	21.6	14,000	16.4	9,400	24.7	207.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年2月期1Q	48,800,000株	2023年2月期	48,800,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	3,371,138株	2023年2月期	3,449,391株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年2月期1Q	45,363,497株	2023年2月期1Q	45,244,312株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
(1) ブランド・地域別売上高の状況	11
(2) 商品部門別売上高の状況	11
(3) 店舗出退店等の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績

	2023年2月期 第1四半期 連結累計期間 (2022年3月1日から 2022年5月31日まで)	2024年2月期 第1四半期 連結累計期間 (2023年3月1日から 2023年5月31日まで)	増減	増減率
売上高 (百万円)	58,006	68,478	10,471	18.1%
営業利益 (百万円)	4,574	6,278	1,703	37.2%
経常利益 (百万円)	4,926	6,349	1,422	28.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (百万円)	3,313	4,464	1,150	34.7%

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限や海外からの入国制限が緩和されたことにより人流が増加し、経済・社会活動の正常化が進んだことで、個人消費には緩やかな回復が見られました。ロシア・ウクライナ情勢の長期化、資源・エネルギー価格の高騰、急速な為替の変動、国際的なインフレなど経済の先行きは不透明な状況が続いているものの、ファッションに関連する消費意欲は底堅く推移しました。

このような情勢の中、当社グループは2022年4月13日に発表した中期経営計画において以下の成長戦略を策定し、実現を目指しております。

成長戦略Ⅰ マルチブランド、カテゴリー	ブランドの役割に応じたグルーピングによる収益改善と成長の両立
成長戦略Ⅱ デジタルの顧客接点、サービス	自社ECの成長加速と楽しいコミュニティ化
成長戦略Ⅲ グローカル	中国大陸でのモデル展開と東南アジア開拓
成長戦略Ⅳ 新規事業	飲食事業確立と新たな魅力の獲得

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が684億78百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益が62億78百万円（前年同期比37.2%増）、経常利益が63億49百万円（前年同期比28.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が44億64百万円（前年同期比34.7%増）となりました。

アパレル・雑貨関連事業につきましては、国内売上高は外出需要の増加や気温の上昇、カジュアルファッションの底堅い需要に加え、トレンドに対応した商品展開やヒット商品の育成、TVCMやポイント還元などのプロモーションの結果、前年同期比16.9%の増収となりました。

デジタル戦略として、自社EC「ドットエスティ」とリアル店舗を連動させたプロモーション施策や、他社商材の取り扱いなど品揃えの拡充を進めたことで、自社ECの会員数は前期末比50万人増の1,600万人に伸長しました。また、EC専業子会社の株式会社BUZZWITが子供服ECの株式会社オープンアンドナチュラルを連結子会社化したことも寄与し、EC売上高は前年同期比19.6%増となりました。

海外売上高（円換算）につきましては、中国大陸では前年同期と比較して新型コロナウイルス感染症の影響が低減したことや、前年に新規出店した店舗の寄与により、前年同期比32.3%の増収となりました。台湾では既存店の伸長に加え、マルチブランド戦略に沿って出店を継続したことにより28.7%の増収、米国では卸売事業が堅調に推移し21.7%の増収となりました。香港は前年同期に新型コロナウイルス感染症の影響があった反動により34.0%の増収となり、海外事業全体では27.3%の増収となりました。

その他（飲食事業）の売上高に関しましては、外食産業における原材料価格や光熱費の上昇、人手不足など厳しい経営環境が続きましたが、来店客数は徐々に回復の動きが見られ、増収となりました。

収益面につきましては、円安や原料価格上昇の影響が続き、「適時・適価・適量」の商品提供による在庫コントロールと値引き販売の抑制、商品の高付加価値化を図り、商品価値とのバランスを考慮しながら商品の価格見直しを進め、また海外事業においても収益性が改善したものの、アパレル・雑貨関連事業の売上総利益率は前年から若干の悪化となりました。その他（飲食事業）においても、原価上昇の影響などにより売上総利益率が低下したことにより、連結での売上総利益率は57.1%となり、前年同期比0.3ポイント悪化しました。

販売費及び一般管理費につきましては、従業員の処遇改善や売上高の伸長により、人件費、店舗家賃、配送料などが増加しましたが、増収効果により販管費率は47.9%と前年同期比1.6ポイント改善し、営業利益は前年同期比37.2%増と大きく伸長しました。

また、為替差益61百万円を営業外収益に、店舗の減損損失35百万円を特別損失に計上しました。

セグメントごとの経営成績は次の通りです。

①アパレル・雑貨関連事業

上記の状況の結果、売上高は658億12百万円、セグメント利益は65億76百万円となりました。

店舗展開につきましては、40店舗の出店（内、海外6店舗）、6店舗の退店（内、海外1店舗）の結果、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、1,469店舗（内、海外100店舗）となりました。

②その他（飲食事業）

その他（飲食事業）につきましては、売上高は26億80百万円、セグメント損失は2億27百万円となりました。

店舗展開につきましては、1店舗の出店、1店舗の退店の結果、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、74店舗となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて、76億78百万円増加して1,190億70百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4億38百万円、受取手形及び売掛金が50億22百万円、店舗内装設備（純額）が7億4百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、42億28百万円増加して548億57百万円となりました。これは主に、短期借入金が21億54百万円、未払金が22億7百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、34億50百万円増加して642億13百万円となりました。これは主に、利益剰余金が28億66百万円、繰延ヘッジ損益が3億54百万円それぞれ増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月4日に公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,380	16,818
受取手形及び売掛金	12,171	17,194
棚卸資産	24,679	24,822
その他	2,622	2,827
貸倒引当金	△81	△116
流動資産合計	55,772	61,545
固定資産		
有形固定資産		
店舗内装設備(純額)	6,000	6,705
その他(純額)	16,064	16,389
有形固定資産合計	22,065	23,094
無形固定資産		
のれん	1,331	1,274
その他	10,577	10,923
無形固定資産合計	11,908	12,197
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108	1,130
敷金及び保証金	13,545	13,653
その他	7,289	7,745
貸倒引当金	△298	△298
投資その他の資産合計	21,645	22,232
固定資産合計	55,619	57,524
資産合計	111,392	119,070
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,280	12,140
電子記録債務	6,990	8,251
短期借入金	197	2,352
1年内返済予定の長期借入金	375	371
未払金	12,114	14,322
未払法人税等	2,970	2,799
賞与引当金	2,112	1,291
ポイント引当金	160	106
その他の引当金	779	774
その他	5,008	5,679
流動負債合計	43,989	48,090
固定負債		
長期借入金	554	468
引当金	—	75
その他	6,084	6,223
固定負債合計	6,639	6,766
負債合計	50,629	54,857

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	7,213	7,213
利益剰余金	55,968	58,835
自己株式	△7,286	△7,050
株主資本合計	58,555	61,657
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	108
繰延ヘッジ損益	△120	233
為替換算調整勘定	877	891
その他の包括利益累計額合計	852	1,233
非支配株主持分	1,355	1,321
純資産合計	60,762	64,213
負債純資産合計	111,392	119,070

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	58,006	68,478
売上原価	24,703	29,383
売上総利益	33,303	39,094
販売費及び一般管理費	28,729	32,816
営業利益	4,574	6,278
営業外収益		
為替差益	274	61
助成金収入	129	9
雇用調整助成金	50	—
その他	65	78
営業外収益合計	520	149
営業外費用		
支払利息	38	55
デリバティブ評価損	106	—
その他	24	21
営業外費用合計	168	77
経常利益	4,926	6,349
特別損失		
減損損失	3	35
特別損失合計	3	35
税金等調整前四半期純利益	4,922	6,314
法人税、住民税及び事業税	1,701	2,465
法人税等調整額	△228	△569
法人税等合計	1,472	1,896
四半期純利益	3,450	4,418
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	136	△46
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,313	4,464

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
四半期純利益	3,450	4,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	12
繰延ヘッジ損益	372	354
為替換算調整勘定	120	14
その他の包括利益合計	538	381
四半期包括利益	3,988	4,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,819	4,840
非支配株主に係る四半期包括利益	169	△41

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間より、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	55,945	2,061	58,006	—	58,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	9	9	△9	—
計	55,945	2,070	58,016	△9	58,006
セグメント利益	4,848	78	4,926	—	4,926

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

4. セグメント利益には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

アパレル・雑貨関連事業セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間に当社の連結子会社である株式会社BUZZWITを通じて株式会社オープンアンドナチュラルの株式を取得したことに伴い、のれんを670百万円計上しております。なお、当該のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アパレル・雑貨 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	65,812	2,666	68,478	—	68,478
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	13	14	△14	—
計	65,812	2,680	68,493	△14	68,478
セグメント利益又は 損失(△)	6,576	△227	6,349	—	6,349

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業であります。
 2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。
 3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。
 4. セグメント利益又は損失には、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) ブランド・地域別売上高の状況

ブランド・地域		当第1四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
		売上高(百万円)	構成比(%)	
	グローバルワーク	13,831	20.2	14.3
	ニコアンド	8,135	11.9	11.2
	ローリーズファーム	5,778	8.4	6.9
	スタディオクリップ	5,423	7.9	12.9
	レブシム	3,579	5.2	5.0
	ジーナシス	2,989	4.4	23.5
	ラコレ	2,674	3.9	43.3
	ベイフロー	2,670	3.9	7.6
	その他	9,447	13.8	16.8
当社 計		54,530	79.6	13.9
株式会社BUZZWIT (注) 3		3,212	4.7	86.9
株式会社エレメントルール		2,888	4.2	21.6
その他連結子会社		206	0.3	318.0
国内合計		60,837	88.8	16.9
	香港	822	1.2	34.0
	中国大陸	873	1.3	32.3
	台湾	1,369	2.0	28.7
	米国	1,908	2.8	21.7
海外合計		4,974	7.3	27.3
アパレル・雑貨関連事業合計		65,812	96.1	17.6
株式会社ゼットン (注) 4		2,532	3.7	30.5
株式会社ADASTRIA eat Creations		134	0.2	11.3
その他(飲食事業)合計		2,666	3.9	29.3
グループ合計		68,478	100.0	18.1

(注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。

2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

3. 株式会社BUZZWITの売上高は、同社の連結子会社である株式会社オープンアンドナチュラルを含めて集計しております。

4. 株式会社ゼットンの売上高は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。

(2) 商品部門別売上高の状況

商品部門	当第1四半期連結累計期間		前年同期比増減率 (%)
	売上高(百万円)	構成比(%)	
メンズ(ボトムス・トップス)	10,172	14.8	13.4
レディース(ボトムス・トップス)	43,197	63.1	17.7
雑貨・その他	15,108	22.1	22.5
合計	68,478	100.0	18.1

(注) 1. 雑貨・その他は、契約負債の計上やポイント引当金繰入額等が含まれております。

2. 上記の金額は外部顧客に対するもので、連結会社相互間の内部売上高は含まれておりません。

(3) 店舗出退店等の状況

ブランド・地域		店 舗 数					
		前連結 会計年度末	当第1四半期連結累計期間				当第1四半期 連結累計期間末
			出店	変更	退店	増減	
	グローバルワーク	205	6	—	△1	5	210
	ニコアンド	141	2	—	△1	1	142
	ローリーズファーム	129	2	—	△2	—	129
	スタディオクリップ	174	6	—	△1	5	179
	レプシム	114	1	—	—	1	115
	ジーナシス	71	—	—	—	—	71
	ラコレ	63	5	—	—	5	68
	ベイフロー	61	1	—	—	1	62
	その他	264	6	—	—	6	270
	当社 計	1,222	29	—	△5	24	1,246
	株式会社BUZZWIT (注) 3	29	—	—	—	—	29
	株式会社エレメントルール	81	2	—	—	2	83
	その他連結子会社	8	3	—	—	3	11
	国内合計	1,340	34	—	△5	29	1,369
	香港	21	1	—	△1	—	21
	中国大陸	13	1	—	—	1	14
	台湾	52	3	—	—	3	55
	米国	9	1	—	—	1	10
	海外合計	95	6	—	△1	5	100
	アパレル・雑貨関連事業合計	1,435	40	—	△6	34	1,469
	株式会社ゼットン (注) 4	71	1	—	△1	—	71
	株式会社ADASTRIA eat Creations	3	—	—	—	—	3
	その他 (飲食事業) 合計	74	1	—	△1	—	74
	グループ合計	1,509	41	—	△7	34	1,543

- (注) 1. 店舗を運営管理しているブランド営業部・地域別に集計しております。
2. 店舗数は、他社WEBストア、自社WEBストアを含めて集計しております。
3. 株式会社BUZZWITの店舗数は、同社の連結子会社である株式会社オープンアンドナチュラルを含めて集計しております。
4. 株式会社ゼットンの店舗数は、同社の連結子会社であるZETTON, INC.を含めて集計しております。